トラブルシューティング

SR series

～メモリースティックの破損を防ぐには～

お客様の手に触れる機会が多いのは、車載器 よりも メモリースティック　です。

メモリースティックは大切なデータを運ぶ**「精密機器」**ですので、
使い方によっては破損してしまうことがあります。

持ち運び上の注意点

①濡らさない
（濡れた手で触れない）

②汚さない
（ゴミや汚れを付けない）

③ポケットに直接入れない
（カバーやケースを使用する）

端子部分に汚れが付着すると、データの読取・書込が出来なくなります。
中途半端な接触により、内部データが致命的な破損を受ける場合もあります。
また、端子が汚れたままご使用を続けると、車載器やリーダーライターを故障させる原因にもなります。
（手の汚れやポケットの中の小さなゴミなどが、コネクタ内部に入り込む故障が増えています）

端子の汚れが目立つ場合は、アルコール(工業用エタノール99.5%相当品)などを柔らかい布地に染み込ませ、そっとふき取ってください。

抜差し上の注意点

車載器の電源が入っている状態でメモリースティックを抜差ししないでください。内部データが破損し、メモリースティックが使えなくなってしまいます。
車両のエンジンを切った後や、パソコン上でデータの吸上げをおこなった後は、一呼吸置いてから抜差しするよう心がけると破損を防ぐことが出来ます。

車載器やリーダーライターからメモリースティックを抜くときに無理な力が加わると、メモリースティックが割れてしまいます。
コネクタから真っ直ぐに抜き取るよう心がけてください。
（外形的に破損したメモリースティックを使うと、コネクタ側も破損します）

その他の注意点

SRで使用するメモリースティックには、特殊なフォーマットが施されています。
Windowsフォーマットをしてしまうと、その特殊フォーマットが破損してしまい、SR車載器で使用することができなくなってしまいます。
Windowsフォーマットは絶対にしないでください。

datatec データテック